



内閣府 令和6年度「安全・安心に関するシンクタンク機能育成事業」  
海外シンクタンク研修プログラム  
(重要技術政策研究及びネットワーク形成)



## 令和6年度 派遣者募集 (二次募集)

\*二次募集締切

令和6年11月5日(火)12:00  
(日本時間) 必着

※詳細は未来工学研究所HPにてご案内します。

※説明会動画は、募集HPにございます。

本プログラムは、我が国の若手人材を  
米国ランド研究所に短期間派遣し、調  
査・分析等のトレーニングを行うととも  
に、重要技術政策等に関する調査研究  
活動に従事する機会を提供します。

◎派遣人数: 1~2名

◎派遣時期: 1月上旬~2月下旬

◎派遣期間: 1か月~1.5か月

◎派遣場所: 米国ランド研究所

(サンタモニカ、ワシントンD.C.、ピッツバーグ又はボストンのいずれか)

※派遣時期・期間・場所は、派遣者の希望及び  
ランド研究所の都合を踏まえて決定します。

お問合せ先

公益財団法人未来工学研究所 政策調査分析センター 海外シンクタンク研修プログラム係

 t-kenshu@ifeng.or.jp

 [https://www.ifeng.or.jp/wp/r6\\_rand\\_pg/](https://www.ifeng.or.jp/wp/r6_rand_pg/)



## 内容

- ランド研究所が提供するトレーニングへの参加
- ランド研究所において、派遣者が設定する重要技術政策等に関する調査研究活動への従事（ランド研究所研究員がメンターとして指導）
- オンライン等を活用した事前研修及びフォローアップへの参加
- 内閣府及び未来工学研究所が指定する関係会合での活動・成果報告
- 内閣府及び未来工学研究所への定期報告

## 期待する派遣者像

- 将来的な安全・安心に関するシンクタンクにおける調査研究への協力をはじめ、我が国の重要技術政策、経済安全保障政策等の企画・立案への貢献に高い関心のある方
- 内閣府、未来工学研究所及びランド研究所からの指導や協力を受け、トレーニングや調査研究活動に意欲的に従事できる方
- 本プログラムを通じて関係者とのネットワークやコミュニティを積極的に構築し、本プログラム参加後もその長期的な維持・強化に期待ができる方

## 応募資格

- 日本国籍を有すること
- 関連分野で修士号以上を取得又はこれと同等以上の学力を有すること
- 実務経験等を経た者（修士号取得者は5年以上、博士号取得者は2年以上が望ましい）
- 専門分野で活動実績を有すること
- 重要技術政策、経済安全保障政策等に関する一定の知識又は高い関心を有すること
- 英語に堪能で、複雑な考えを口頭及び書面にて効果的に伝えられる能力を有すること  
……等、詳細は募集要項を参照のこと

## 待遇

- 旅費・謝金等（未来工学研究所の規程に従い支給）
  - ▷ 航空運賃（エコノミー、1往復のみ支給）
  - ▷ 派遣期間中の日当（10,000円/日）
  - ▷ 派遣期間中の宿泊費（未来工学研究所 規定額）
  - ▷ 派遣期間中の海外旅行保険
  - ▷ 研究協力謝金（最大67.5万円）
  - ▷ 研究会参加費等（申請により支給可否を判断）※ 米国ESTA等申請に係る費用は派遣者本人の負担
- ランド研究所における研修環境
  - ▷ オフィススペースや図書館等の利用
  - ▷ PC等の情報・通信機器の貸与

選考  
プロセス

募集開始  
説明会

(9月)

書類選考  
面接選考

(11月上旬)

派遣者決定

(11月中旬)

☞ 詳細は、未来工学研究所HPに掲載される募集要項をご覧ください。

## 海外シンクタンク研修プログラムについて

内閣府では、「第6期科学技術・イノベーション基本計画」（令和3年3月26日閣議決定）等に基づき、国内外の技術動向、社会経済動向、安全保障等の多様な視点から科学技術・イノベーションに関する調査研究を実施する安全・安心に関するシンクタンクの本格的な設立準備を進めています。このシンクタンクは、将来的に経済安全保障推進法（令和4年法律第43号）に基づく、特定重要技術の研究開発の促進及びその成果の適切な活用を図るために必要な調査及び研究を受託することも期待されています。

本プログラムは、安全・安心に関するシンクタンクの設立準備の一環として、将来的にシンクタンクを支え得る人材の育成や調査研究ネットワークの構築・強化を図ることを目的に、米国にあるランド研究所（世界有数のシンクタンクとして、科学技術、安全保障、国際情勢等の幅広い分野で調査研究・政策提言を実施）と協働して研修プログラムを実施するものです。